

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公)

公表:令和 6年 2月 20日

事業所名 こぱんはうすさくら南越谷教室

保護者等数(児童数) 40 回収数 30 割合 75%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	23	4		3	室内に入ったことが無いのでわからない。	保護者様の見学は随時受け付けておりますので、教室の状況をご確認いただく事が可能です。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	22	4		4	先生方、スタッフの方々皆さんとても優しいです。	職員の専門性を生かした支援を続けてまいります。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	16			14	細かく見ていないので分かりません。	保護者様の見学は随時受け付けておりますので、教室の状況をご確認いただく事が可能です。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	30					適正な評価をいただいております、引き続き継続してまいります。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	30					固定化しないよう毎月プログラムを変更しており、今後も継続してまいります。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	5	14	9	外出規制も緩和されているが、交流があるかは不明。 必要性を感じないので、無くていいです。 公園やスーパーに買い物等、外に行く機会を作ってほしい。	保護者様のご意見やニーズを検討し、今後検討していきたいと思っております。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	30					契約時に必要なご説明を行っておりますが、ご不明点等は随時対応いたします。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	28	1		1	送迎時やソラプロ(連絡帳)で出来ている。	適正な評価をいただいております、送迎時の送迎、連絡帳でのお伝えを継続し情報の共有化をしております。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	27	3			面談はないが、困った行動や支援について協力していただいております。	定期的な面談の機会は設けておりませんが、随時電話・送迎時のご相談には対応させていただきます。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	3	18	7	保護者同士の集まりは色々な仕事の方がいるので開催されても難しいのではないかと。	保護者様のニーズを分析し開催を検討したいと思います。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	21	2		7	現在、苦情はないですが、他のご利用者様から出ているかは分からないので何とも言えない。 苦情を申し立てたことが無いのでわかりません。	ご利用・支援等のご相談は随時受け付けております。ご相談時は適切に対応してまいります。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	29	1			連絡帳だけでなく、送迎時に口頭で子どもの様子を教えてもらっています。	送迎時の送迎、連絡帳でのコミュニケーションを継続してまいります。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	20	4	1	5	子ども達の様子がわかる定期的な会報があると良い。	SNSを通してレクリエーションのお知らせ、活動の様子のお伝え等を行っておりますが、今後保護者様のご要望等がありましたら検討してまいります。
	14 個人情報に十分注意しているか	26			4		研修等を行うことで、今後も個人情報の取り扱いには十分注意してまいります。
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	22	2		4		各種のマニュアルは策定しておりますが、保護者様への周知・説明は不足しております。訓練等を行った際に周知・説明出来るように検討してまいります。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	20	3		7		定期的に、避難訓練は行っております。連絡帳等にて訓練の内容等をお伝えしていければと思います。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	24	3	2		苦手意識を持ってしまい、しばらく行きたくないという日が多いです。 いつもご機嫌で帰ってきます、いつもありがとうございます。 学校で疲れていた、自宅でゲームをしたいのがあるが、楽しみが無いように感じる。 いつも楽しみにしています。	いろいろな支援のご要望に沿った対応を心がけ取り組んでまいります。
	18 事業所の支援に満足しているか	27	2	1		外出の機会も検討していただきたい。 長期休暇の時など、工作以外にも外遊び・買い物体験等をさせてほしい。 事業所の様子を写真等で伝えてほしい。 こちらの希望以上の、ご指導・ご支援いつもありがとうございます。	いろいろな支援のご要望に沿った対応を心がけ取り組んでまいります。

399 37 36 65

74%

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら 南越谷教室教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	12		その日のご利用者様に合わせ、教室を分ける等の対応をしています。	
	2	職員の配置数は適切である	8	4		日々のご利用者様に合わせた職員数の配置。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	11	1	机や椅子の高さが体格に合わない子どものために、足置きやクッションが用意されている。棚や机の角にコーナーガードが取り付けられている。	バリアフリー化等、必要性が出た場合は、改修を検討します。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	10	2	必要なタイミングで、会議等を開催しています。	今後は定期的な会議の開催を検討する。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10	1	年一回のアンケート実施。	アンケート結果を職員間で共有し、業務改善へつなげていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9	1	本部のホームページで公開しています。	アンケート結果の公開は行っているが、保護者様への周知がされていないので、今後はSNS等を使い周知していく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	6		今後の検討課題。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	4	年間計画表に沿った研修を行っている。	支援に関わる外部研修の実施。子どもの安全に関わるため、アルバイトに対しても簡単な研修があればいいと思います。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	11			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9	2		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	4		今後は、チームでのプログラム立案を検討する。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	12		活動プログラムは毎月更新され、利用回数が多い子どもにも、なるべく偏りなく色々なプログラムに参加出来るように考えられている。	保護者様アンケートで、ご要望のあった外出活動のプログラムの実施を検討します。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	12		個人別の課題目標を設定、目標達成シートを作成し楽しく課題に取り組めるよう工夫している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	12		それぞれの到達目標に合わせた個別活動と、全員が無理なく参加できるゲームや工作などの集団活動を実施している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9	3	スケジュール表・送迎表を各自確認している。毎日ミーティングが行われているわけではないが、役割分担の確認等はきちんと行われていると感じる、イベント時には全員集まりミーティングしている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	5	毎日の業務日報を職員全員で確認し、情報を共有している。特別ミーティングの時間を設けているわけではないが、個別で気づいた点の共有は行っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	12		活動記録に記入し職員間で共有している。活動記録・業務日報は毎日記入し、業務日報に関しては、職員全員が確認の上サインをすることになっている。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8	2			
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	10	2			
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9	1	サービス担当者会議等は、児童発達支援管理責任者が必ず参加している。		
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	11	1	学校お迎え時に、担任との情報共有をしている。また、保護者様経由で学校と支援の方針を合わせる等の対応をしている。		

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	7		支援の対象ではありません。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	9	1	基本は、保護者様経由の情報共有が主です。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	1	今まで実績はありません。	今後、学校卒業後に他の障害福祉サービス等へ以降の際、すみやかに情報を提供できるよう体制を整える。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	3		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	8		現状は行っていませんが、保護者様のニーズを分析し児童館等での活動等を検討します。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	7		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	12		連絡帳・送迎時に情報共有を行っている。	現時点で問題にはなっていないことでも、気になることは早めに伝え情報共有する。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	7		現状は、行っていませんが保護者様のご要望に添って、検討していきたいです。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	12		契約時に行っています。	運営規定・利用者負担等、いつでもご相談可能な事を保護者様へ周知する。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	12		保護者様の悩みやご相談には、随時対応しています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	7		現状は、行っていませんが保護者様のご要望に添って、検討していきたいです。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	12			日頃から、送迎時・SNS等で、どんな些細な問題でもご相談していただけるような環境にしていく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	6	SNSを通じて、活動や行事の様子をお伝えしている。	今後は、定期的な会報等の発行を検討する。
	35	個人情報に十分注意している	12			研修により、個人情報に関する理解を深めていく。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	12		言葉での情報交換が難しい子どもには、マカトサインを取り入れて支援を行っている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	7		保護者様のご意見を参考に開催の是非を判断する。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	11	1	相談室にマニュアルが置いてあり、壁にはマニュアルをポスター化したものが貼ってあるため、いつでも見られるようになっている。	避難訓練は行っているが、保護者様への周知は連絡帳のみなので、訓練の周知方法を検討する。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	12			現状、火災訓練のみなので、いろいろな災害を想定した訓練を検討する。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	11		年間計画表に沿った研修を行っている。	今後も研修を継続し、虐待防止に取り組む。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	9	1	基本的に身体拘束は行っていませんが、研修を行い知識や理解を職員間で共有しています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	12		冷蔵庫に対象の子どものアレルギー表が貼ってあり、おやつに間違えて提供しないよう周知している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	12		職員全員が確認し、サインしている。	半年・一年後等に見直し、再発防止に活用する。